

第218回中国理解講座

# 清代満洲貴族女性の 多様な宗教信仰と菓子文化の研究

— 供物・祭礼・食文化を通じた社会文化史的考察 —

講師：愛新覚羅 闔和氏  
(立命館大学衣笠総合研究機構 専門研究員)

5/9 土

10:00～11:30

立命館孔子学院講義室

＋  
オンラインライブ配信

参加無料（要事前申込）

本講演では、清代中国を支えた満洲社会について、漢人社会との違いにもふれながら、満洲貴族女性の暮らしと信仰の世界を分かりやすく紹介します。1644年の北京遷都以後、満洲社会には、祖先祭祀やシャーマニズムを基盤としつつ、漢地仏教、チベット仏教、道教、儒教儀礼、さらに民間の諸信仰が重なり合う、多元的な宗教文化が形成されていきました。そうした中で満洲女性たちは、家庭や一族の儀礼、祝祭、婚礼、出産、弔いなどに深く関わり、日常生活の中で信仰を支える重要な役割を担っていました。その中でも、特に菓子に注目し、それが単なる食べ物ではなく、供物、贈答、祈り、さらには身分や文化を示す象徴でもあったことを明らかにし、宗教・社会・食の結びつきを通して、満洲文化の特色をより身近に感じていただけるよう紐解いていきます。

お申込み・お問合せ：立命館孔子学院

603-8577 京都市北区等持院北町56-1 アカデメイア立命21内  
TEL 075-465-8426 Mail koza@st.ritsume.ac.jp  
<https://www.ritsume.ac.jp/confucius/>

